

# 第5次朝霞市総合計画後期基本計画 総括評価シートの見方

令和6年7月8日 第7回朝霞市総合計画策定委員会 資料6－2（参考）

※ 大柱に属する中柱の数によって、両面1枚ではなく、シートが2枚にわたる場合があります。

【表】

第5次朝霞市総合計画_後期基本計画 総括評価シート （対象：R 3～5年度）				
政策分野	第6章 基本構想を推進するために ① 大柱 04 市民参画・協働 関係部課	主管部	市長公室	
① 大柱	04 市民参画・協働 (後期基本計画冊子 P148～149)	主管課	政策企画課	
I 目指す姿				
② 情報公開の総合的な推進を図ることにより、公正で透明な行政を推進するとともに、多くの人が気軽にまちづくりに参加できるよう環境整備を進め、市政への参画が市民にとって身近であるまちを目指します。			達成状況 B おおむね順調 ③	
II 計画策定期の現状と課題、主な取組・成果・達成状況				
中柱 1	計画策定期の現状と課題及び主な取組・成果		達成状況	
	④ (1) 市民参画と協働の推進  審議会の委員の公募やパブリック・コメント等により、市と様々な施設の計画段階から実施、評価に至るまで、市民参画の機会を設けている。若い世代や子育て世帯など、幅広く市民がまちづくりや地域の課題に関われるよう、市政に参画しやすい仕組みづくりを推進するためこれが求められている。 また、特定の課題を効果的に解決していくためには、その課題についてよく知る市民や関係団体等、当事者の参画や協働が求められ、更には、政策の実行段階での市民の事業への参画など、協働のまちづくりも求められている。 自治基本条例の制定や協働指針の改定などを検討していくことが課題である。	⑤ 《計画策定期の現状と課題》  審議会の委員の公募やパブリック・コメント等により、市と様々な施設の計画段階から実施、評価に至るまで、市民参画の機会を設けている。若い世代や子育て世帯など、幅広く市民がまちづくりや地域の課題に関われるよう、市政に参画しやすい仕組みづくりを推進するためこれが求められている。 また、特定の課題を効果的に解決していくためには、その課題についてよく知る市民や関係団体等、当事者の参画や協働が求められ、更には、政策の実行段階での市民の事業への参画など、協働のまちづくりも求められている。 自治基本条例の制定や協働指針の改定などを検討していくことが課題である。	⑥ 《主な取組・成果》  ・公募委員候補者名簿に登録した方を審議会委員に委嘱することで、計画段階から実施、評価に至るまで多くの場面で市民の方にご参加をいただくなほか、パブリック・コメントの実施や意見交換会の開催など、市民参画の機会を設けることができた。 ・地域活動の参加促進につながるようなセミナーや相談会を実施すること、また、志木市、和光市、新座市と共に市民活動団体交流会を開催することで、地域での活動を希望するの方や市民活動団体への支援を行い、協働のまちづくりを進めることができた。	B おおむね順調 ⑦
中柱 2	(2) 情報提供の充実と市民ニーズの把握  広報について、これまで広報誌やホームページのほか様々な広報手段の拡充を図ってきた。引き続き、新たな情報提供手段の可能性を探りつつ、各年齢層に対して、それぞれ最も効果的な広報手段や内容を検討する必要がある。 また、広報については、引き続き広報の在り方にについて検討とともに、行政からの発信だけではなく、時代に即したデジタル技術を活用し、市民からの意見を聴取するための方法等について検討していく必要がある。	⑧ 《計画策定期の現状と課題》  広報について、これまで広報誌やホームページのほか様々な広報手段の拡充を図ってきた。引き続き、新たな情報提供手段の可能性を探りつつ、各年齢層に対して、それぞれ最も効果的な広報手段や内容を検討する必要がある。 また、広報については、引き続き広報の在り方にについて検討とともに、行政からの発信だけではなく、時代に即したデジタル技術を活用し、市民からの意見を聴取するための方法等について検討していく必要がある。	⑨ 《主な取組・成果》  ・広報について、メール配信サービスや、X (旧Twitter)、フェイスブック、LINE、InstagramといったSNSを活用し、行政情報を提供する。また、緊急時には防災行政無線を用いるなど、各年齢層に対して効果的な広報をすることができる。 ・広聴について、市への意見要望の受付、子ども議会の開催により市民等から直接意見を聞くことができた。また、市政モニター制度により、市政モニターに対してアンケートを実施することで、市民の意識やニーズを把握することにつながった。	B おおむね順調
	—	—	—	
中柱 3	—	—	—	
	—	—	—	
【達成状況凡例】 A：極めて順調 B：おおむね順調 C：やや遅れている D：大幅に遅れている				

## ① 政策分野、大柱、主管課 等

後期基本計画の施策体系（冊子 P40～47）における政策分野、大柱、主管課等を表示しています。

なお、「大柱」の枠内に、後期基本計画冊子の該当ページを記載しています。

## ② 目指す姿

後期基本計画において大柱が掲げた「目指す姿」を転記しています。

## ③ 達成状況（大柱）

大柱に属する中柱の評価を積み上げ、A～Dの4段階で評価しています。

## ④ 計画策定期の現状と課題、主な取組・成果・達成状況

大柱に属する中柱ごとに、主な取組や達成状況等を記載しています。

なお、中柱の数は1から6まで、大柱によって異なります。

## ⑤ 計画策定期の現状と課題

後期基本計画策定期における現状と課題について、計画上の記載内容を基に記載しています。

## ⑥ 主な取組・成果

R 3年度～R 5年度に実施した主な取組・成果を記載しています。

## ⑦ 達成状況（中柱）

中柱の達成状況について、主に⑤の「現状と課題」に対する⑥の「取組・成果」の内容から、A～Dの4段階で定性的に評価しています。

## 【裏】

III 成果指標						
⑧	中柱ごとの指標（単位）	策定期現状値 上段：目標・計画値 下段：実績値（R5年度は見込み値）				
		年・年度	R3	R4	R5	R6
NPOやボランティア等との協働事業数（事業）		73	80	85	90	95 100
R元年度		59	68	64		
広報あさかアンケートでの紙面の見やすさが良いを選ぶ割合（%）		44	45	48	52	56 60
R元年度		47	48	44		
-						
IV R5年度市民意識調査による重要度・満足度（大柱）						
⑨	重要度	0.75	満足度	0.17	領域	
		具体的なコメント（良い点）		具体的なコメント（改善点）		
(該当なし)		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後のまちづくりにあたっては、今後のまちづくりを市と市民が共有化し、更に市民の積極的な参画で進めていくことが必要である。</li> <li>SDGsやCSVを意識し、広く民間企業の協力を得られるようにする。</li> <li>朝霞市、新座市、志木市の連携した事業の促進を望む。</li> <li>ホームページ等を見にいければよいかもしれないが、もっと発信をしてほしい。</li> </ul>				
V 外部評価委員会等の第三者機関からの評価等						
⑩	中柱1	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民がまちをつくる主体であるということを意識するよう市民に働きかけを行い、協働を進めていただきたい。</li> <li>NPO法人を増やすため、もっと積極的なPRが必要である。</li> <li>地域での活動に関心がある人材を発掘するという視点はとても良い。</li> <li>若年層へのアプローチについて、検討の余地がある。</li> </ul>				
	中柱2	<ul style="list-style-type: none"> <li>市政モニターの意見を反映し、広報あさかのレイアウトを統一した結果、見やすくなったといった意見が多数あった。</li> <li>市政モニターから、広報あさかに写真やイラスト、漫画などを活用してほしいといった意見があった。</li> <li>子ども議会において、子ども議員が質問の説明に用いる資料の提示方法をスクリーン投影へ変更したところ、分かりやすかったという声が寄せられた。</li> </ul>				
	中柱3	-				
VI 今後の課題						
⑪	中柱1	<p>【市民参画】公募委員候補者登録制度や審議会等のほか、様々な場面で市民が市政に関わる機会を増やすとともに、若年層へのアプローチを検討する必要がある。</p> <p>【協働の推進】職員の協働に関する意識啓発を進めるとともに、地域の課題解決に取り組む市民活動団体等の育成や支援を行い、協働事業を展開していく必要がある。</p>				
	中柱2	<p>【積極的な広報・広聴】SNS等を活用し、市民が必要とする多くの情報を提供するとともに、「市への意見・要望」や「市政モニター」などを通じて、市民の市政参加に関する意識の高揚を図る必要がある。</p>				
	中柱3	-				

### ⑧ 成果指標

後期基本計画に掲げた成果指標の値を記載しています。

### ⑨ R5年度市民意識調査による重要度・満足度（大柱）

第6次朝霞市総合計画策定のために実施した市民意識調査結果から、大柱ごとの重要度や満足度等の内容を記載しています。  
 ※大柱「行財政」は、内容が多岐にわたるため、市民意識調査においては「行政」と「財政」の2つに分けて回答を頂いています。

#### 【重要度・満足度】

大柱ごと、5段階の回答について、一番高い評価を「2」、一番低い評価を「-2」と数値化した上で算出した平均値を記載しています。

#### 【領域】

重要度・満足度によるマトリクス分析を行い、重要度・満足度の平均値から領域を4分割した際に、属する領域を記載しています。

#### 【具体的なコメント】

市民意識調査の自由意見欄で頂いたコメントについて、関連するコメントがある場合、その内容を良い点と改善点に分けて記載しています。

### ⑩ 外部評価委員会等の第三者機関からの評価等

外部評価委員会や個別の審議会等から頂いた評価、意見等について、関連する評価、意見等がある場合、その内容を中柱ごとに記載しています。

### ⑪ 今後の課題

これまでのシートの内容や、昨今の社会情勢等を踏まえた今後の課題について、中柱ごとに記載しています。

第6次総合計画に繋がる課題について、ご意見を伺います。